

令和3年度予算が成立

3月定例会
2月19日～3月16日

第1回定例会では、令和3年度予算や新型コロナウイルス感染症などへの対応のための補正予算など、35議案が市長から提出されました。議長を除く21人の議員で採決した結果、原案のとおり承認・同意・可決しました。

主な議案審議

◆一般会計補正予算(第11号)(専決処分)

Q 新型コロナウイルスワクチンの接種券に記載される内容、活用方法、発送時期は。

A 接種券には接種券番号、接種者の氏名、接種回数、接種情報を予防接種台帳に登録するためのバーコードが記載される。

予約時に接種券番号が必要であり、接種時に接種回数を確認するために利用する。今回、予算計上している接種券関連業務は、65歳以上の高齢者を対象としており、発送時期は国から示される。

Q ワクチンの接種時に必要な手続は。

A 市から郵送する接種券が届いたら、希望の日時、場所を予約する。

予約方法は、スマートフォンなどから行うインターネット予約と、コールセンターへの電話予約がある。接種当日は運転免許証や保険証など本人確認書類を持参し、接種券と併せて郵送する予診票にあらかじめ必要事項を記入して、接種会場の担当医師に提出する必要がある。

◆ふれあい健康センターの指定管理者の指定

Q これまでと新年度の指

定管理料の額は。また、その乖離の理由は。

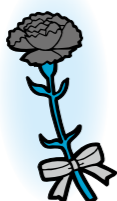
A 令和元年度が、1億2千664万4千860円、2年度が1億2千500万円であり、新年度の指定管理料は、3年度が9千724万円、4年度が9千856万円となっている。乖離の理由は、新年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休館の継続を考慮し、主に、休館中の施設設備の維持管理を行う。



目途に取り組んでいく。当該委託料は、運行計画の作成やオペレーションセンターの整備及び実証運行前のテスト走行など、技術的支援に係る委託料である。

Q 高齢化やコロナ禍で、投票しやすい環境づくりで検討していることは。

A 入曾及び堀兼地域の隣接する4つの投票区の区割りを見直し、より近くの投票所で投票できるように、区割りの変更を行った。また、密集を避ける観点からも、期日前投票所を現在の2カ所から3カ所に増設することを検討している。



◆一般会計補正予算(第13号)に対する修正案

ふれあい健康センターの令和3年度及び4年度の指定期間の管理料の限度額を2億5千万円とするもの

《賛成少数で否決》

Q PFI事業の導入ではなく、指定管理者による管理とした理由は。

A 新型コロナウイルス感染症の動向が不透明な状況の中で、事業への参入を検討する民間事業者にとっても、利用料金の見込みや事業費などの算定を行う市にとっても、判断が非常に困難な状況である。このためPFI事業の手続を先送りし、この間の管理運営は指定管理者制度を継続するとの判断に至ったもの。

◆水道事業会計補正予算(第2号)

Q 水道料金免除の実績は。また、対象者に対する申請の割合は。

A 水道料金免除の申請件数は592件、免除額が537万8千174円である。緊急小口資金等の特例貸付や住居確保給付金を受けている免除対象者880名に対する申請の割合は67.3%である。

◆一般会計補正予算(第14号)

Q コロナに負けない! 地域公共交通支援金は、今回2度目の支援となるが、その理由と交付内容は。

A 令和2年4月から12月までの路線バスとタクシー事業者の事業収入は、前年対比、約3割減、観光バス事業者は約8割減であり、事業継続が懸念される状況である。今回は観光バス事業者を含め、市内の交通事業者の事業継続を支援するた

者の事業継続を支援するために地域公共交通支援金を交付する。路線バスとタクシー事業者には前回と同様とし、観光バス事業者には、市内に登録を有する37台に各20万円を交付する。

Q ワーク(仕事)とバケーション(休暇)の造語と言われるワークションの環境整備工事費の内容と予定している場所は。

A 智光山公園キャンプ場を予定している。内容は、ワークション環境の構築として、無線LAN環境の整備、トイレの洋式化、シャワールームの新設と併せ、オートキャンプサイトの整備が主なものである。



令和3年度
一般会計予算
歳入歳出
472億5200万円

歳入

Q 個人市民税の納税義務者1人当たりの平均所得の見込額は。また、令和2年度との比較は。

A 平均所得額は、リーマンショック時の調定額と平均所得額の落ち込み幅を参考に、約281万円と見込んでおり、2年度と比べて約9万円の減となる。

歳出

Q 地域公共交通対策事業の概要と、今回計上された公共交通実証運行等支援業務委託料の内容は。

A 令和3年度では、新たな地域公共交通の導入方針を踏まえ、導入地区の検討や運行計画の作成など、具体的な運行の準備を行い、4年度の実証運行の開始を

◆国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

Q 国民健康保険の保険給付が約4億8千万円の減額になった理由は。

A 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、被保険者が医療機関への受診を控えたことが主な要因と考える。令和2年4月から10月までの各診療月の医療費の診療別内訳は、前年度に比べ入院が9.88%減少であるのに対し、入院外も11.55

の減少となっている。